

自己評価結果公表シート 令和6年度

修道こども園

1. 園の教育目標

すべての子どもたちのために、その未来のために いつでも どこでも 誰でもが 質の高い乳幼児の教育・保育と子育て支援を総合的にできるように。

- * 心身ともに健康で明るく伸び伸びとした元気いっぱいの子どもたちを育てたい。
- * 自主性を個性を大切に、それぞれの子どもたちの発達に合わせた、教育・保育を行い心身ともに豊かな子どもたちを育てたい。
- * 友達と仲良く遊び、自然や命の大切さを教えたい。
- * 当たり前のことができるようになってほしい。

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画を基に設定した学校評価の具体的な目標や計画

保育士一人一人の保育計画について評価・反省し、次につなげようと努力がみられた。
クラスから学年へ、学年から園へとつながっていく体制が不足しているように思う。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

評 価 項 目	取 組 み 状 況
教育・保育要領の精神を踏まえ、園の教育理念・教育方針にしたがい編成している。	個々の保育について、子どもたちの活動について評価・反省している。自己評価を踏まえ、園の保育の向上に繋げていくよう継続していきたい。
教育・保育要領子どもの実態などをもとに考えて作成している。	加配が必要な子どもたちが多く、個々の子どもたちに寄り添いながら計画を立てていくことが出来た。
子どもの実態を的確につかみ、主体的な学びが生まれるように環境設定している。	子どもたちの今の興味・関心を持っていることを把握し、実情に即し、園の環境の中で自主的に遊びが選べられるよう工夫していくよう話し合っていきたい。
学期ごとに各クラスの経営の成果と課題を報告する。	毎月各クラスの活動の様子、個々の子どもたちの様子を把握することができた。
子どものよさを認めて評価しようとしている。	常に子どもの気持ちに寄り添い、適切な言葉かけにより、その子の良い所は認め、指導が必要な時はその子の気持ちを受け止めながら指導する。
職員間の協力体制が整えられ、積極的に話し合い、同じ方向性をもって、保育をしている。	教頭・主幹教諭が現場の意見をまとめ、職員が同じ方向性をもって保育できるよう努力している。

規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	子どもたちの保育活動に支障のないよう、規則正しい生活をしてもらうよう協力を求めている。
各研修会や研究会に積極的に参加して職員に資料提供をする。	対面での研修も増えてきているので、職員が研修参加し易いようにクラスのフォロー体制を整える。
園だよりや各学年の掲示資料を通して、子ども園の情報を発信していく。	ITC化に向けて園が導入しているコドモンの利用が増えてきている。 職員の仕事の簡素化にも繋げていきたい。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
A	園児減少を食い止めるため、保護者の方が安心して預けられる環境、職員の自覚を徹底していきたい。子どもたちが生き生きと遊びに打ち込める環境づくり、毎日園に行きたいと元気に登園する子どもたちの笑顔が見られるよう努めて行く。今後を継続していく目標である。

5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
子どもにとっての適切な環境設定の見直しと共に安全・安心できる環境整備	建物の老朽化も進み、同じく遊具等の不良も増えてきている。子どもたちに怪我等になる前に安全対策をとるように徹底していく。
自己点検、自己評価	職員一人一人が自分が受け持った子どもたち・クラスに対して大きな目標を掲げ、具体的に実践できるようにしていく。実践後の点検・評価を必ず行い次に繋げていくようにしていく。
指導計画の編成	職員一人一人が保育計画について意見が言える雰囲気をつくり、活動内容を研究し、実践できる環境を作り、指導計画を見直していく。

6. 学校関係者評価委員会の意見 西岡守雄様・中野眞家様

職員間の連携が大切。
子どもたちのために今以上に保育に邁進していただきたい。